



八代市立  
東陽中学校  
学校だより

# 東陽の旋風

かぜ  
～つなぐ～

令和7年10月6日(月)  
NO. 24  
文責：御寄 文男

## 「事業と授業とのコラボ」

9月25日(木)、八代市内のALTの先生3人が、東陽中に訪問され「**スペシャルイングリッシュタイム**」として英語の授業にそれぞれ入っていただきました。これは主に、英会話でのコミュニケーション能力を高めるための八代市の事業で、事前に申し込みをして実現した取組です。

各学年の英語の授業に、初めて会う3人のALTが入り、まずは自己紹介のあと、スピーチそしてマンツーマンの英会話など、緊張感の中にもたくさんの楽しみがあり、貴重な時間となりました。

また、10月7日(火)は「**八代市日本遺産ガイド講習会**」を東陽定住センターで予定しています。事業内容は、「八代市の施設や史跡、日本遺産の情報を伝えるだけでなく、ガイド力によってさらに魅力を伝えるためには」と題して、講師をお迎えします。

(NPO法人町づくり地域フォーラム鹿児島探検会 代表理事 東川隆太郎 様)

受験の面接や将来、社会に出てからも役に立つような内容と期待しています。今後も事業と授業とのコラボに期待です。



## 図書室貸出冊数が

本校には、図書支援員の先生が週2回来校し、蔵書管理、貸出、返却業務等の、図書活用支援を担っていただいています。

利用状況を伺うと、「昼休みに何人か来てくれますが、貸出冊数は少ないですね～」とのことです。最近は「電子書籍」の利用が増えてきたので、本を手にとって読むことが少なくなったのでしょうか。

生徒の皆さんの来館をお待ちしています！

図書委員会では、10月の目標に「本をたくさん読もう」とし、「本ガチャポン」や、読書クラスマッチを計画してあります。まずは、図書室に行き、本を手にとってみてはいかがでしょうか。いい本に出会えるといいですね！

## まだ少し先の話かと思いますが、

3年生はあと半年後には、中学校を卒業し高校進学など新たな道に進みます。通学方法として高校までは自宅から通ったり、場所によっては寮に入ったりと様々です。高校卒業後は就職、大学進学、はたまた家を継ぐ人など選択肢は広がります。いずれにしても近い将来に独り立ちしていくと思えば、子どもと一緒に生活するのもあと数年かもしれません。

我が家は共働きで、子どもが保育園の時のお迎えはいつも最後。そして、小・中・高校の一番大事なときに帰りは遅く、土日もない。普段は先に子どもが帰っていて、よく弁当を買ってその日を生活していました。そのことがベストだったのかは分かりません。長男は高校卒業後、岡山にある大学に進学しましたが中退、熊本から逃げるようにしてそのまま東京へ行き、何年も音信不通。去年、親父が亡くなったことをきっかけに、7～8年ぶりに会うことができ、現在東京在住の30歳。連絡はできるように。25歳の二男は、今年1月に敦賀から帰ってきて一緒に3人で暮らしています。 ～～ふとひとりその頃を思い出すとなぜか涙が～～～心配はつきませんが今2人とも仕事をしているので静かに見守りたいです～

**お知らせ** 10月26日(日)の「しょうが祭」に向けての事前アンケートをお願いしています。配布プリントのQRコード、または、安心安全メールのURLから回答をお願いします。

～ご意見ご感想等がありましたら、ぜひお寄せください

